

令和3年度 静岡市中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告

令和4年5月

静岡市（静岡県）

I. 中心市街地全体に係る評価

○計画期間:平成28年4月～令和4年3月(6年0月)

1. 計画期間終了後の市街地の概況

令和元年度終盤からの予期せぬ新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により、計画最終年度である今年度（令和3年度）においても中心市街地のにぎわいにとって厳しい1年間となった。長期化する新型コロナウイルス感染症拡大で、計画当初の目標値に到達することは難しい状況だった。

しかしながら令和3年度は、同じ新型コロナウイルス感染症拡大であった昨年度（令和2年度）と比較すると歩行者通行量（静岡地区の指標）が増加するなど、回復がみられた部分もある。イベントについても、人数制限を設けるなどの密を避け、感染対策を講じた上での実施が少しずつみられている。

静岡地区について、令和3年度主要な通りの店舗・事業所数（静岡地区の指標）は目標を達成したが、歩行者通行量の全体については目標に及ばなかった。しかし、歩行者通行量において、新型コロナウイルス感染症拡大である令和3年度にでも基準値（平成26年度）を超えた地点がいくつかみられた。その地点は、本計画で推進していた“縦軸の強化（「札ノ辻エリア」～「七間町エリア」）”と一致していることから、本計画は目指すまちづくりの方向へと導く指針となったと考えられる。

清水地区について、観光客数（清水地区の指標）は、基準年（H26）より緩やかに増加傾向であり、平成30年度（新型コロナウイルス感染症拡大影響前）では目標値を超えていた。しかし観光に重点をおいていた清水地区では、特に新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等の影響を受けてしまった。

また、当該計画では、静岡地区と清水地区で2地区1計画となる中活計画を策定することで、2地区一体となった活性化の推進により、両地区の相互誘客の効果を見込んできたところである。例えば、両地区を結ぶ鉄道において本市の地域資源であるアニメキャラクターを活用したラッピング電車を運行することで観光客等の回遊を促したり、清水港に寄港したクルーズの外国人観光客に対し静岡地区の街歩きマップを配布することで回遊を促したりすることで、歩行者通行量や観光客数の増加に好影響を与えることができたと考える。

令和4年4月には静岡まつりが開催されるなど、少しずつ街中ににぎわいが戻ってきている。今後のウィズコロナにおける街中のにぎわい創出に向け、出来得限りの経済対策事業を中心市街地活性化協議会と共に検討し、実施していきたい。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：毎年度 12 月 31 日)

【静岡地区】

中心市街地 区域	平成 27 年 度(計画前 年度)	平成 28 年 度(1 年目)	平成 29 年 度(2 年目)	平成 30 年 度(3 年目)	令和元年度 (4 年目)	令和 2 年度 (5 年目)	令和 3 年度 (6 年目)
人口	15,403 人	15,380 人	15,481 人	15,594 人	15,728 人	15,772 人	15,739 人
人口増減数	-	-23 人	101 人	113 人	134 人	44 人	-33 人
自然増減数	-	-	-	-	-	-	-
社会増減数	-	-	-	-	-	-	-
転入者数	-	-	-	-	-	-	-

【清水地区】

中心市街地 区域	平成 27 年 度(計画前 年度)	平成 28 年 度(1 年目)	平成 29 年 度(2 年目)	平成 30 年 度(3 年目)	令和元年度 (4 年目)	令和 2 年度 (5 年目)	令和 3 年度 (6 年目)
人口	6,314 人	6,230 人	6,192 人	6,070 人	6,054 人	5,997 人	5,869 人
人口増減数	-	-84 人	-38 人	-122 人	-16 人	-57 人	-128 人
自然増減数	-	-	-	-	-	-	-
社会増減数	-	-	-	-	-	-	-
転入者数	-	-	-	-	-	-	-

【静岡地区】

項 目	平成 25 年	平成 26 年 (基準年)	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
主要な通りの店舗・事業所数	—	540 件	558 件	532 件	544 件	548 件
歩行者通行量	—	6,445 人	5,892 人	6,111 人	6,520 人	6,919 人
中心市街地人口	14,954 人	15,254 人	15,403 人	15,380 人	15,481 人	15,594 人
地価(千円/㎡)	1,380 千円/ ㎡	1,390 千円/ ㎡	1,400 千円/ ㎡	1,420 千円/ ㎡	1,460 千円/ ㎡	1,480 千円/ ㎡

項 目	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	基準値との 比較(%)	備 考
主要な通りの店舗・事業所数	559 件	567 件	576 件	106.6%	呉服町通り・七間町通り・伝馬町 通り
歩行者通行量	6,538 人	4,217 人	5,680 人	88.1%	中心市街地内の 58 地点
中心市街地人口	15,728 人	15,772 人	15,739 人	103.1%	住民基本台帳
地価(千円/㎡)	1,500 千円/ ㎡	1,510 千円/ ㎡	1,450 千円/ ㎡	102.8%	中心市街地区域内の 国交省公示価格最高地点

【清水地区】

項 目	平成 25 年	平成 26 年 (基準年)	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
歩行者通行量	1,903 人	1,056 人	1,006 人	1,301 人	1,636 人	1,409 人
観光客数	—	646 万人	655 万人	675 万人	674 万人	682 万人
中心市街地人口	6,520 人	6,429 人	6,314 人	6,230 人	6,192 人	6,070 人
地価(千円/㎡)	181 千円/㎡	176 千円/㎡	173 千円/㎡	168 千円/㎡	165 千円/㎡	164 千円/㎡

項 目	令和元年	令和2年	令和 3 年	基準値との 比較(%)	備 考
歩行者通行量	1,711 人	933 人	916 人	86.7%	中心市街地の 16 地点
観光客数	652 万人	289 万人	—	44.7%	「観光交流客数調査」及び独自調査
中心市街地人口	6,054 人	5,997 人	5,869 人	91.2%	住民基本台帳
地価	162 千円/㎡	160 千円/㎡	154 千円/㎡	87.5%	中心市街地区域内の 国交省公示価格最高地点

2. 計画した事業等は予定どおり進捗・完了したか。また、中心市街地の活性化は図られたか。(個別指標ごとではなく中心市街地の状況を総合的に判断)

【進捗・完了状況】

①概ね予定通り進捗・完了した

②予定通り進捗・完了しなかった

【活性化状況(静岡地区)】

①活性化した

②若干活性化した

③計画策定時と変化なし

④計画策定時より悪化

【活性化状況(清水地区)】

①活性化した

②若干活性化した

③計画策定時と変化なし

④計画策定時より悪化

【活性化状況(全体)】

①活性化した

②若干活性化した

③計画策定時と変化なし

④計画策定時より悪化

3. 進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由(2. における選択肢の理由)

【進捗・完了状況】

静岡地区および清水地区共に計画していた主要事業は、完了および実施中のため、「①概ね予定通り進捗・完了した」といえる。

【活性化状況(静岡地区)】

静岡地区については、主要な通りの店舗・事業所数が目標値を超え、達成状況が A となった。歩行者通行量は、最新値は C であるが、主要事業(静岡呉服町第二地区第一種市街地再開発事業・静岡七間町地区優良建築物等整備事業等)近隣の歩行者通行量は基準年である平成 26 年度より増加傾向にあることや、令和 4 年 4 月には静岡まつりの開催やゴールデンウィーク期間のイベント(ピクニックガーデン、サンバカーニバル等)では街中に人が出ている様子が見られ、ポジティブな変化が見られることから、「②若干活性化した」とした。

【活性化状況（清水地区）】

清水地区については、2つの目標値が「観光」を最重点機能として位置付けていることから特に新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止等の影響（観光客数・滞在時間）を受けたことで、最新値は共にCであった。しかし、観光客数は、基準年（平成26年度）より緩やかに増加傾向であり、平成30年度（新型コロナウイルス感染症影響前）では目標値を超えた682万人となった。以上のことから、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止等の影響が大きく、影響前までは計画内事業等により活性化傾向にあったことから、6年間の計画期間を総合的に考え、「③計画策定時と変化なし」とした。

今後、ウィズコロナに向けた経済対策事業（R3 地域型宿泊誘客事業、地域消費促進事業、R4 まちは劇場 TRY'22、団体旅行等誘致事業、地域型宿泊誘客事業等）を実施していく予定である。これらにより清水地区を含めた観光誘客や経済活性化の取組を強く推進していく。

4. 中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

【活性化状況（静岡地区）】

- ①活性化した
- ②若干活性化した
- ③計画策定時と変化なし
- ④計画策定時より悪化

【活性化状況（清水地区）】

- ①活性化した
- ②若干活性化した
- ③計画策定時と変化なし
- ④計画策定時より悪化

【活性化状況（全体）】

- ①活性化した
- ②若干活性化した
- ③計画策定時と変化なし
- ④計画策定時より悪化

【詳細を記載】

【活性化状況（静岡地区）】

数値目標である「主要な通りの店舗・事業所数」「歩行者通行量」について、市当局から報告を受けた。直近の数値は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けていることはやむを得ない。

「主要な通りの店舗・事業所数」は、達成状況がA評価であるが、これは再開発事業等によって箱の数が増加したためである。量の点においては目標値を達成しているが、質（例：空き店舗を含めた実際の稼働率等）の点においては、必ずしも樂觀できる状況ではないと考える。

そのため、目標数値の評価だけで満足することなく、質を問う意識を持ちつつ、今後も活性化に取り組んでもらいたい。

【活性化状況（清水地区）】

数値目標である「観光客数」「滞在時間」について、市当局から報告を受けた。清水地区は観光を軸とした活性化を推進してきたため、直近は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出の自粛の影響を大きく受けている。しかし、その影響を受ける前までは、観光客数が増加傾向にあり、この6年間の総合的に考えれば活性化したと言える部分もある。前後を含めた評価をすることは大変困難であるが、今回、変化なしとした。

清水地区は中心市街地活性化区域の周辺地域において様々な動きがあることから、今後は区域内に留まらず周辺地域とも連携することで、さらなる活性化に取り組んでもらいたい。

5. 市民意識の変化

【活性化状況(静岡地区)】

- ①活性化した
- ②若干活性化した
- ③計画策定時と変化なし
- ④計画策定時より悪化

【活性化状況(清水地区)】

- ①活性化した
- ②若干活性化した
- ③計画策定時と変化なし
- ④計画策定時より悪化

【活性化状況(全体)】

- ①活性化した
- ②若干活性化した
- ③計画策定時と変化なし
- ④計画策定時より悪化

●計画策定前の平成 25 年度市民意識調査と令和 2 年度の市民調査の結果を比較し市民意識の変化を捉えた。

令和 2 年度 「市民意識調査 私はこう思う」
 調査日 : 令和 2 年 7 月 1 日～7 月 2 2 日
 調査方法 : 郵送配布・郵送回収
 標本数 : 3 0 0 0 人
 有効回収数: 1 5 6 2 人 (無回答除く)

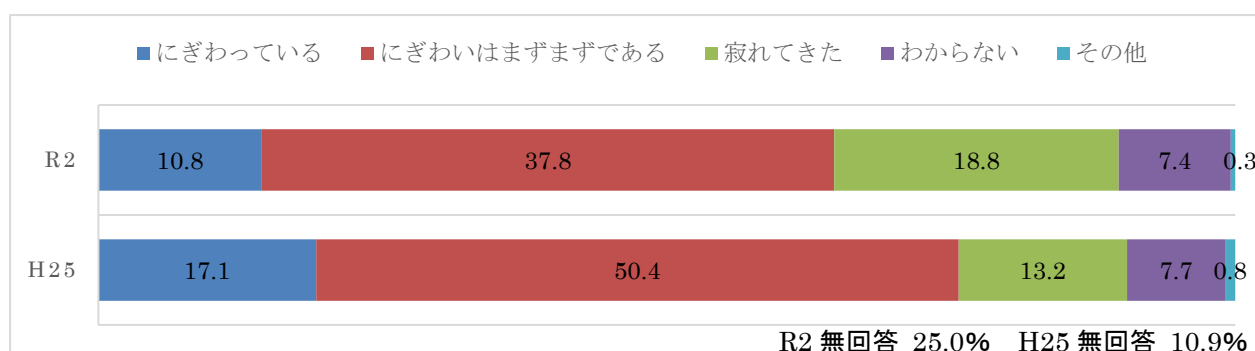
平成 25 年度 「市民意識調査 私はこう思う」
 調査日 : 平成 25 年 7 月 1 日～7 月 2 2 日
 調査方法 : 郵送配布・郵送回収
 標本数 : 5 0 0 0 人
 有効回収数: 2 0 9 0 人 (無回答除く)

【静岡地区】

計画期間前後で「中心市街地がにぎわっているかどうか」について、

静岡地区においては、平成 25 年度には「にぎわっている」「にぎわいはますますである」が 7 割を占めており、比較的高水準である。静岡地区の中心街は人が集中し、人通りが多い箇所もあることが一つの要因と考えられる。

しかし令和 2 年度は約 5 割となった。これは、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響が大きかったのではないかと考えられる。人通りが多い静岡地区の中心街を避けたことで令和 2 年度は歩行者通行量が過去最低を記録したと考えられる。人が街中に出なかったことから、市民意識調査においても、平成 25 年度に比べて「にぎわっている」「にぎわいはますますである」と感じる市民が減少したのではないかと思われる。

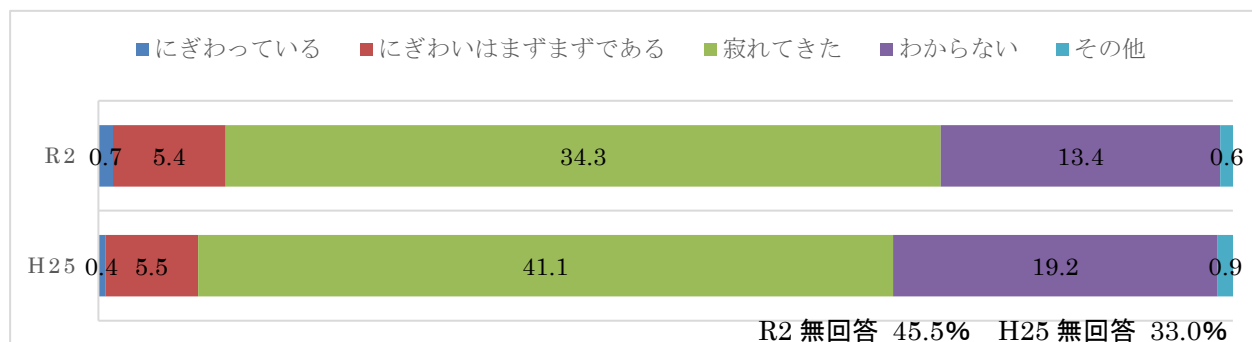


【清水地区】

計画期間前後で「中心市街地がにぎわっているかどうか」について、

清水地区においては、平成 25 年度には「にぎわっている」「にぎわいはますますである」が 5.9%、令和 2 年度は 6.1%とほぼ変わらない。「寂れてきた」平成 25 年度は 41.1%に対し、令和 2 年度は 34.3%となり減少している。行政区別でみると、清水区居住者において「にぎわっている」「に

ぎわいはまずまずである」と回答した割合が微増し、「寂れてきた」と回答した割合が減っていた。清水区においては新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により、遠出が難しい状況において居住地の近くの生活により、市民意識に変化が見られたのではないかと考えられる。



●静岡地域中心商店街通行量・お買物調査 結果報告書の平成 26 年度（基準年度）と令和 3 年度（最新値）を比較し市民意識の変化を捉えた。

令和 3 年度

調査日：令和 3 年 11 月 28 日（日）

10:00～17:00

調査方法：来街者に対する面接アンケート方式

調査地点：10 地点

回答者数：600 人（60 人×10 地点）

平成 26 年度

調査日：平成 26 年 11 月 30 日（日）

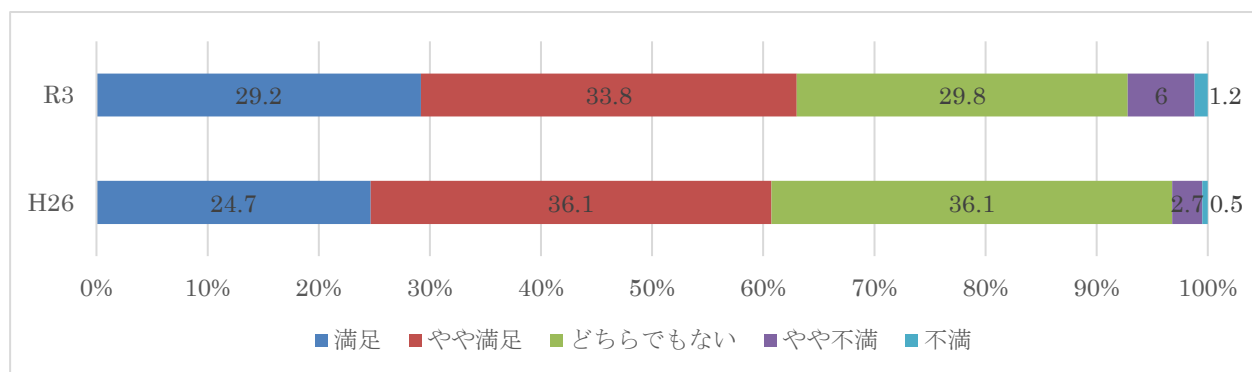
10:00～17:00

調査方法：来街者に対する面接アンケート方式

調査地点：10 地点

回答者数：600 人（60 人×10 地点）

【静岡地区】



計画期間前後で「中心市街地でのお買物・サービス機能について」の満足度調査
平成 26 年度には「満足」「やや満足」が 60.8%となっており、令和 3 年度は 63.0%と微増した。

以上のことから、静岡地区は・清水地区共に「③計画策定時と変化なし」とした。

静岡地区は、市民意識調査での「中心市街地がにぎわっているかどうか」については、「にぎわっている」「にぎわいはまずまずである」の回答数は減少傾向であるが、お買物・サービス機能についての満足度調査では「満足」「やや満足」が微増となっている。新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止等の影響もあり、「③計画策定時と変化なし」とした。

清水地区は、市民意識調査での平成 25 年度には「にぎわっている」「にぎわいはまずまずであ

る」が5.9%、令和2年度は6.1%とほぼ変わらない。新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止等の影響もあり、「③計画策定時と変化なし」とした。

6. 今後の取組

第2期計画の終盤では新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響が大きかった。今後はウィズコロナに向けた街の賑わい回復が重要となる。中心市街地の活性化を図るための効果的な事業を推進していく必要がある。

具体的には、ウィズコロナに向けて、令和4年度に「地域消費促進事業」「まちは劇場 TRY' 22」「デジタルスタンプラリー事業」を実施していく。

まず、地域消費促進事業においては、商店街等が行うクーポン発行事業への補助を通じて、店舗へ来店するインセンティブを用意することで、来街促進を図っていく。次に、まちは劇場 TRY' 22 では、交流人口の拡大、地域経済活性化及び文化の振興等を目的として実施するイベントを対象に奨励金を交付することで、新型コロナウイルス感染症拡大で停滞していたイベントを回復させ、賑わいを創出していく。最後に、デジタルスタンプラリー事業において、地域消費促進事業を行う商店街等とまちは劇場 TRY' 22 を活用するイベント開催地にラリーポイント（二次元コード）を設置し、抽選で地場産品が当たるキャンペーンを実施することで、静岡市内の回遊性を高め、街の賑わい回復に繋げていく。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 各目標の達成状況

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	達成状況
"わくわくドキドキ、 にぎわいと活力のまち	【静岡地区】 主要な通りの 店舗・事業所数	540 件 (H26)	555 件 (R3)	576 件 (R3)	A
"わくわくドキドキ、 にぎわいと活力のまち	【清水地区】 観光客数	646 万人 (H26)	677 万人 (R3)	377 万人 (R3)	C
"わくわくドキドキ、 にぎわいと活力のまち "てくてく らくらく、 にぎわいと活力のまち	【静岡地区】 歩行者通行量	6,445 人 (H26)	7,123 人 (R3)	5,680 人 (R3)	C
"わくわくドキドキ、 にぎわいと活力のまち "てくてく らくらく、 にぎわいと活力のまち	【清水地区】 滞在時間	2.8 時間 (H26)	3.0 時間 (R3)	2.4 時間 (R3)	C

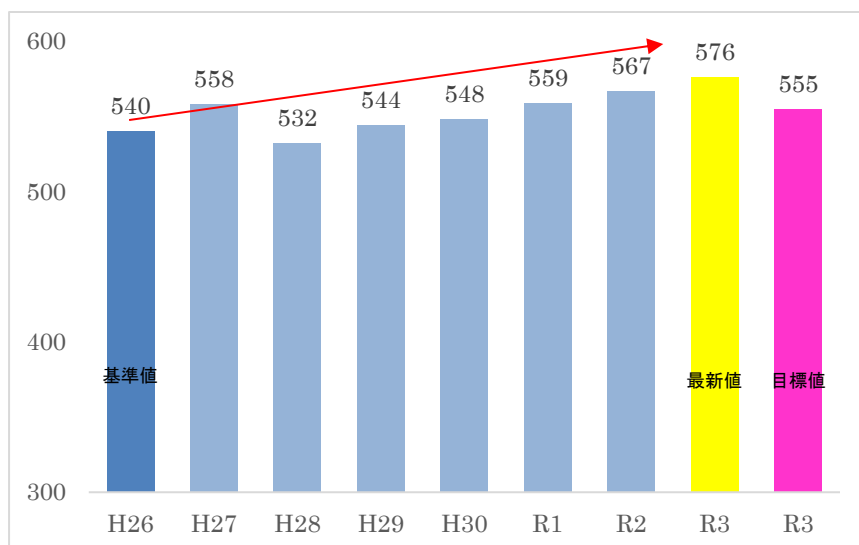
＜達成状況の分類＞ A：目標達成、B1：概ね目標達成（基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている）、B2：基準値より改善（基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない）、C：基準値に及ばない

※上記について、関連する事業等が予定どおり進捗・完了しなかった場合は、小文字にして下さい。（注：小文字のa、b1、b2、cは下線を引いて下さい）

2. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「【静岡地区】主要な通りの店舗・事業所数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 91～P. 95 参照

●調査結果と分析



年	件
H26 基準値	540
H27 計画前	558
H28 1年目	532
H29 2年目	544
H30 3年目	548
R1 4年目	559
R2 5年目	567
R3 6年目	576
R3 6年目 (目標値)	555

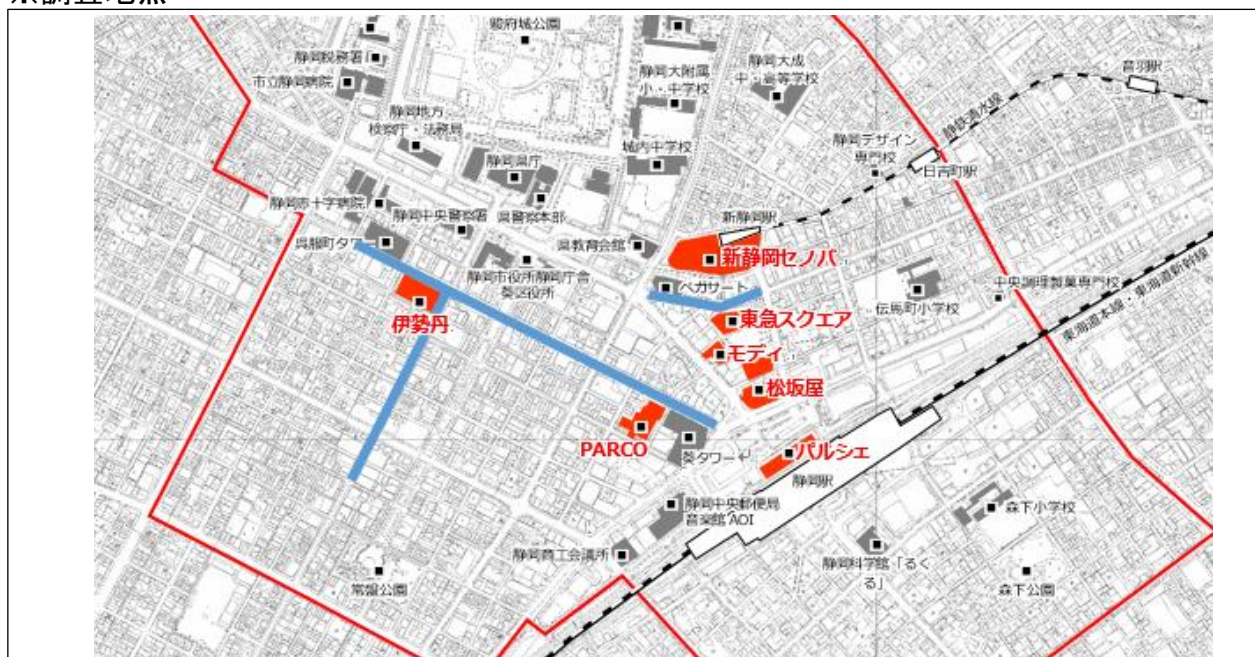
※調査方法：地図情報を参考に、現地で店舗名・業態等を目視で確認

※調査月：毎年1月

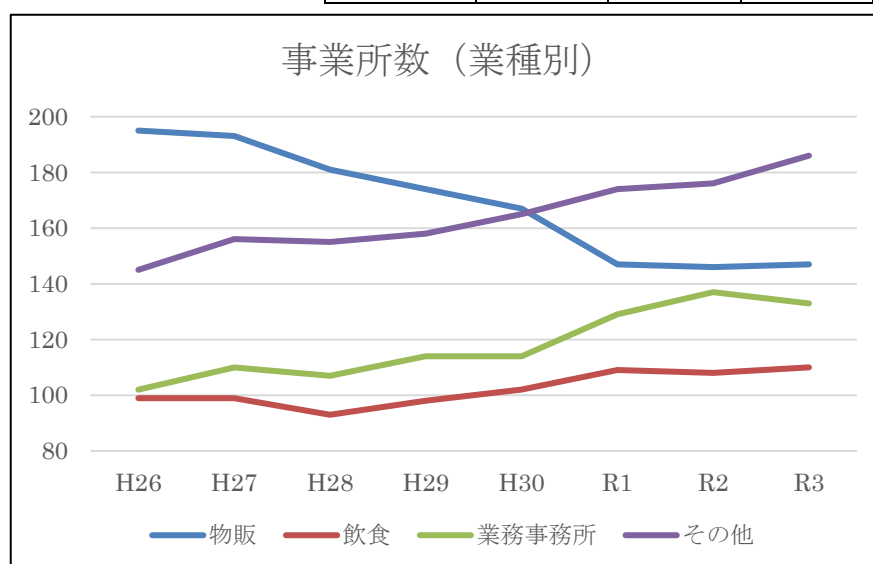
※調査主体：静岡市

※調査対象：呉服町通り・七間町通り・伝馬町通りのうち「静岡市都心地区まちづくり戦略」静岡都心の『界隈性や賑わいの連続性をつくる』ゾーンに含まれる区域で、各通りに面する建物で営業・運営している店舗・事業所

※調査地点



事業所数（通り別）				事業所数（業種別）				
事業所数 （件）	呉服町 通り	七間町 通り	伝馬町 通り	事業所数 （件）	物販	飲食	業務 事務所	その他
H26	275	129	137	H26	195	99	102	145
H27	290	130	138	H27	193	99	110	156
H28	280	124	132	H28	181	93	107	155
H29	288	125	131	H29	174	98	114	158
H30	288	130	130	H30	167	102	114	165
R1	300	124	135	R1	147	109	129	174
R2	292	133	142	R2	146	108	137	176
R3	294	140	142	R3	147	110	133	186
基準値と の比較 （％）	106.9	108.5	103.6	基準値と の比較 （％）	75.3	111.1	130.3	128.2



〈分析内容〉

再開発事業を中心とした主要事業の完了が進むにつれて事業所数が右肩上がりに増加している。このことから、主要事業がおおむね完了・達成したことで、最新値が目標値を約20件超える結果となったと考えられる。また、通り別で比較すると七間町通りが108.5%の増加率となり、縦軸の強化（「札ノ辻エリア」～「七間町エリア」）につながったと考えられる。

事業所数（業種別）においては、物販のみ減少傾向を示し、インターネットを通じた買い物の普及なども一因と考えられる。物販以外の業種は増加を示し、特に業務事業所、その他の事業が増加している。その他の事業は、薬局やスタジオなどが含まれているが、令和3年度においては、クリニックや歯科医院などの医療系の新規事業所数が増え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響と考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

①. 静岡呉服町第二地区第一種市街地再開発事業（静岡呉服町第二地区市街地再開発組合、札の辻ビルマネジメント株式会社）

事業実施期間	平成 25 年度～平成 30 年度【済】
事業概要	商業店舗、業務事業所、駐車場（120 台）、駐輪場（291 台）、多目的ホール（約 600 m ² ）、高齢者施設（84 戸）、ウェルネス等の整備を図る再開発事業の実施。 ※施行区域：約 4,000 m ² 、延床面積約 19,700 m ² 、階数：地上 13 階、地下 1 階
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（国交省）（平成 25 年度～平成 30 年度） 防災・省エネまちづくり緊急促進事業（国交省）（平成 28 年度～平成 30 年度） 地域・まちなか商業活性化支援事業（経産省）（平成 30 年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	平成 30 年 11 月に「札の辻クロス」として竣工。計画内で、その効果として主要な通りの店舗・事業所数の 6 件増を見込んでいた。 その結果、①～⑦の取り組みを総合的・一体的に推進することで目標値である計 555 件を達成した。基準値から 36 件増、昨年比で 9 件増となっている。
達成した（出来なかった）理由	当該事業は当初の計画どおりに進捗し、平成 30 年 11 月に「札の辻クロス」として竣工した。直接整備効果及び波及効果により目標に達したと考えられる。また、近隣地点の歩行者通行量も増加した。
計画終了後の状況及び事業効果	「札の辻クロス」内には音楽を中心とした多目的ホールがあり、ホール利用者の増加により近隣地点の歩行者通行量も基準年と比べ増加したと考えられ、街の賑わいにもつながっていると思われる。
事業の今後について	事業完了によって効果が発現したが、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって店舗・事業所数を取り巻く環境は厳しさを増している。今後のウィズコロナに向けて、効果が持続するよう、市および中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

②. 静岡七間町地区優良建築物等整備事業（静岡七間町地区優良建築物等整備事業建設組合）

事業実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度【済】
事業概要	商業店舗、保育所（約 300 m ² 、定員 30 人程度）、住戸（170 戸）、駐車場（116 台）、駐輪場（207 台）等の整備を図る優良建築物等整備事業の実施。※施行区域：約 2,600 m ² 、延床面積約 19,500 m ² 、階数：地上 27 階、地下 1 階

国の支援措置名 及び支援期間	社会資本整備総合交付金（国交省）（平成 26 年度～平成 29 年度） 防災・省エネまちづくり緊急促進事業（国交省）（平成 27 年度～平成 28 年度） 保育所等整備交付金（厚労省）（平成 29 年度）
事業目標値・最新 値及び達成状況	平成 29 年 7 月に竣工。波及効果として、計画内では、主要な通りの 店舗・事業所数の 3 件増を見込んでいた。 その結果、①～⑦の取り組みを総合的・一体的に推進することで目 標値である計 555 件を達成した。基準値から 36 件増、昨年比で 9 件増となっている。
達成した（出来な かった）理由	当該事業は当初の計画どおりに進捗し、平成 29 年 7 月に竣工した ことで直接整備効果および・居住者が増加したことによる波及効果 が要因と考えられる。
計画終了後の状 況及び事業効果	本事業の隣接する歩行者通行量調査地点（PIVOT 静岡ビル前、静岡 北ワシントンホテルプラザ前）などにおいても増加がみられたこと から、街の賑わいにもつながったと思われる。
事業の今後につ いて	事業完了によって効果が発現したが、新型コロナウイルス感染症拡 大による外出自粛等の影響によって店舗・事業所数を取り巻く環境 は厳しさを増している。今後のウィズコロナに向けて、効果が持続 するよう、中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

③. 静岡市歴史文化施設建設事業（静岡市）

事業実施期間	平成 27 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	今川氏や徳川家康公の研究拠点としての博物館機能と集客創造・ 回遊促進のためのビジターセンター機能を備えた静岡市歴史文化 施設の建設。※施行区域：約 8,100 m ² 、延床面積：約 5,000 m ²
国の支援措置名 及び支援期間	社会資本整備総合交付金（国交省）（平成 25 年度～令和元年度） 都市構造再編集中支援事業（国交省）（令和 2 年度～令和 3 年度）
事業目標値・最新 値及び達成状況	工事発注の事務手続きを一時停止していたが事業を再開するこ ととなり、令和 3 年 1 月から建設工事が始まった。令和 5 年 7 月に プレオープンし、令和 5 年 1 月に開館に向けて建設工事のため、 本事業は現在実施中。
達成した（出来な かった）理由	当該事業は計画期間内に竣工はしなかった。
計画終了後の状 況及び事業効果	現在建設中。令和 5 年 7 月にプレオープンし、令和 5 年 1 月に開 館予定。
事業の今後につ いて	令和 5 年 1 月に開館予定。今後、歴史文化施設の竣工効果により、 周辺エリアである静岡地区の主要な通りの店舗・事業所数が増加す ることを見込んでいる。

④. 静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター移転・運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	七間町エリアの再生に向け、創造的活動拠点を移転・運営し、クリエイターの発掘・育成・企業やクリエイティブ産業の振興を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	平成 28 年 4 月に「文化・クリエイティブ産業振興センター」と改称し、七間町への移転が完了した。計画当初の見込みのとおり、直接整備効果として 1 件の事業所数が増加した。
達成した（出来なかった）理由	当該事業は当初の計画どおりに進捗し、平成 28 年 4 月に移転が完了したことで直接整備効果により目標達成したと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	本事業の隣接する歩行者通行量調査地点においても増加がみられたことから、街の賑わいにもつながったと思われる。
事業の今後について	施設竣工による店舗・事業所の直接効果があった一方、今後は新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響も懸念される。中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

⑤. 企業立地促進助成（クリエイター事務所賃借料補助）実施事業（静岡市）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	映画館群撤退によるにぎわい減退傾向にある七間町エリアの再生に向け、静岡市クリエイター支援センターの拠点整備と併せ、エリア内に個々のクリエイターの集積も一層促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	④事業との総体効果として、計画 5 年間で 13 件増を見込んでいる。その結果、①～⑦の取り組みを総合的・一体的に推進することで目標値である計 555 件を達成した。基準値から 36 件増、昨年比で 9 件増となっている。
達成した（出来なかった）理由	④事業をフォローする本事業を行うことにより、相乗効果が生まれ、波及効果により目標達成したと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	④事業の隣接する歩行者通行量調査地点においても増加がみられたことから、相乗効果で街の賑わいにもつながったと思われる。
事業の今後について	今後も当該制度を継続しクリエイターの集積を促進していく。

⑥. 鈴木学園中央調理製菓専門学校静岡校移転・運営事業（学校法人鈴木学園）

事業実施期間	平成 28 年度【済】
事業概要	静岡市上下水道庁舎の整備の一環として、同施設内に地域のにぎわい創出や教育機能向上に寄与する専門学校の移転・運営を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	平成 28 年 4 月に新上下水道庁舎建物への移転が完了。1F の学生が運営するレストラン&パティスリーと上層階の学校部分で直接効果として、当初の見込みどおり、2 件の事業所数が増加した。
達成した（出来なかった）理由	当該事業は当初の計画どおりに進捗し、平成 28 年 4 月に移転が完了したことで直接整備効果により目標達成したと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	本事業の隣接する歩行者通行量調査地点においても増加がみられたことから、学生が運営するレストラン&パティスリーへの利用者数の増加の影響もあり、街の賑わいにもつながったと思われる。
事業の今後について	施設竣工によって店舗・事業所等への直接効果があった一方、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって周辺店舗・事業所数への影響が懸念される。中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

⑦. 市上下水道局移転・運営事業（静岡市）

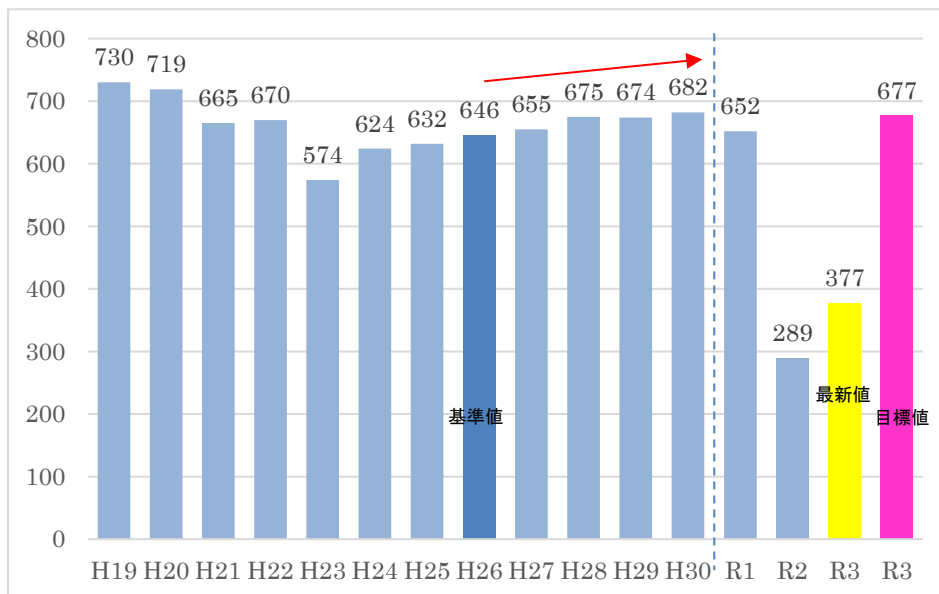
事業実施期間	平成 27 年度～平成 28 年度【済】
事業概要	七間町エリアにおいて、市上下水道局庁舎を整備し、地域の人が集い・交流する場を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	平成 28 年 2 月に水道部、下水道部が新庁舎へ順次移転した。計画当初の見込みのとおり、事務所開業の直接的な効果として 1 件増加した。
達成した（出来なかった）理由	当該事業は当初の計画どおりに進捗し、平成 28 年に移転が完了したことで直接整備効果により目標達成したと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	本事業の隣接する歩行者通行量調査地点においても増加がみられたことから、街の賑わいにもつながったと思われる。
事業の今後について	施設竣工によって店舗・事業所等への直接効果があった一方、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって周辺店舗・事業所数への影響が懸念される。中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

●今後の対策

③静岡市歴史文化施設建設事業（現：静岡市歴史博物館）は現在建設中、令和5年1月に開館予定であるため、今後、歴史文化施設の竣工効果により、周辺エリアである静岡地区の主要な通りの店舗・事業所数が増加することを見込んでいる。最新値は目標値を上回っているものの、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により店舗・事業所数の減少が懸念されることから、中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。令和4年度の中心市街地活性化協議会事業では、「空き店舗出店支援事業」として、静岡市の中心市街地で空き店舗を活用し、賑わいの創出に資する事業に補助金を交付することを予定している。また、市においては中心市街地内に立地する大型店の空きスペースを活用し、県内外の魅力的な店舗の出店を後押しする「チャレンジショップ出店支援事業（仮称）」を実施することを予定している。同事業により実地経験を積んだ事業者が中心市街地への出店に際し、空き店舗対策事業を効果的に活用することで、空き店舗解消に寄与すると考えている。

（２）「【清水地区】観光客数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 96～P. 101 参照

●調査結果の推移



年	万人
H26 基準値	646
H27 計画前	655
H28 1年目	675
H29 2年目	674
H30 3年目	682
R1 4年目	652
R2 5年目	289
R3 6年目	377
R3 6年目 (目標値)	677

※調査方法：各施設・イベント事業者へ文書照会を実施し、回答を集計

※調査月：毎年5～6月頃

※調査主体：静岡市

※調査対象：「観光交流客数調査」及び独自調査を基に、清水地区内の9施設及び8事業の利用者・参加者の合計により算出

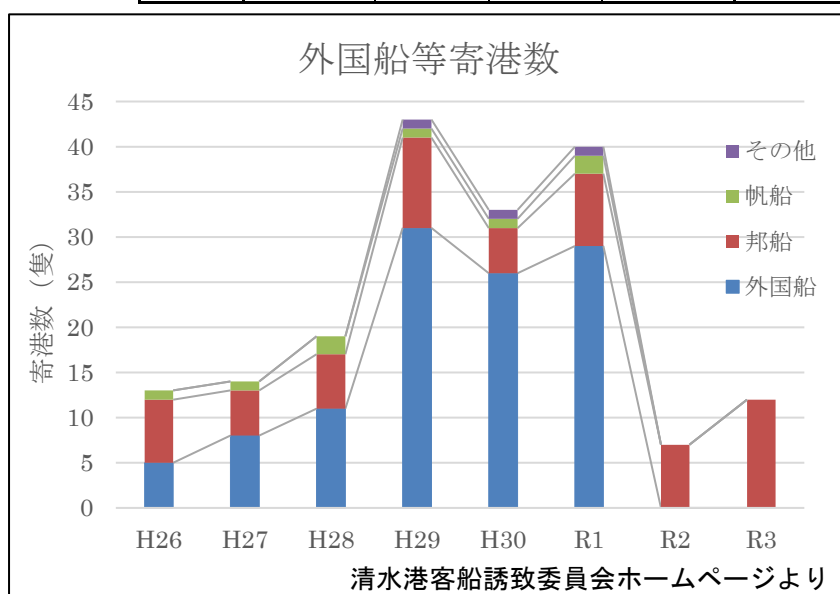
〈分析内容〉

観光客数は、基準年（平成26年度）より緩やかに増加傾向であり、平成30年度では目標値を超えた682万人となった。しかし、令和元年度終盤からの新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止や外出自粛等の影響が大きく、最新値（令和2年度）は過去最低値となってしまった。令和3年度は前年度に比べると回復したが、377万人に留まった。令和3年度においても、清水地区内で毎年60万人程の観光客が来場する大規模イベント（清水みなと祭り、清水七夕まつり）を含むイベントが中止となった。そのため、令和2年度に比べて令和3年度は約88万人増加したものの目標値には達しなかった。

観光客数の減少には、新型コロナウイルス感染症拡大による清水港への外国船等の寄港数減少の影響も大きいと思われる。これまで清水港への寄港誘致を推進し、平成29年度には外国船31隻を含む計40隻の寄港があった。しかし、令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け外国船の寄港ができず、0隻となっている。

寄港者数についても、新型コロナウイルス感染症拡大前の平成30年度は4万7千人を超える寄港者があったが、令和2年度では日本船のみの寄港となり、寄港者数も千人程となってしまった。このことから、観光客の減少は新型コロナウイルス感染症拡大による寄港数減少の影響も大きく、目標値には達しなかったと考えられる。

外国船等寄港数（隻）					
	外国船	邦船	帆船	その他	合計
H26	5	7	1	0	13
H27	8	5	1	0	14
H28	11	6	2	0	19
H29	31	10	1	1	43
H30	26	5	1	1	33
R1	29	8	2	1	40
R2	0	7	0	0	7
R3	0	12	0	0	12



●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 清水駅東口歩行者デッキ（ペDESTロリアンデッキ）延伸事業

事業実施期間	平成 27 年度～平成 28 年度【済】
事業概要	J R 清水駅と静岡市清水市民文化会館を繋ぐ歩行者デッキを漁港施設「河岸の市」へ延伸整備し、回遊性向上を図る事業。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	平成 27 年 12 月に着工し、平成 29 年 2 月に供用が開始された。港・ウォーターフロント活用・連携事業との総体効果として、最終年度には観光客数の 18.5 万人増（目標値 677 万人）を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値（R2）では 289 万人となり、最低値となっている。
達成した（出来なかった）理由	ペDESTロリアンデッキの延伸工事が予定通り完了したが、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止や外出自粛等の影響によって観光客数が激減したことが要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	ペDESTロリアンデッキにより、周辺施設へのアクセスが容易になり回遊性や観光客数の向上につながっていると考えられる。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって観光客数をはじめ地域経済に大きな影響が出ており、今後のウィズコロナに向けて、必要な経済対策等を実施していく。

②. （仮称）清水区本郷町大規模小売店舗跡整備事業（ヨシコン株式会社）

事業実施期間	平成 27 年度～平成 30 年度【済】 認定基本計画：平成 28 年度～令和 2 年度
事業概要	商業店舗、ビジネスホテル、マンション、駐車場等の整備を図る事業の実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	拠点機能・連携機能・回遊機能の強化を図る多様な事業の総体効果として、観光客数の 1.1 万人増（目標値 677 万人）を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値（R2）では 289 万人となり、最低値となっている。
達成した（出来なかった）理由	商業店舗が平成 30 年春にオープン、ビジネスホテルが平成 31 年 3 月に開業したが、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって観光客数が激減したことが要因と考えられる。

計画終了後の状況及び事業効果	宿泊施設が開業したことにより、遠方からの来街者の増加につながると考えられる。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって清水地区の観光客数をはじめ地域経済に大きな影響が出ていることから、今後のウィズコロナに向けて、経済対策等を実施し観光業等の活性化を図っていく。

③. 清水魚市場「河岸の市」運営事業（清水魚株式会社）

事業実施期間	平成 13 年度～【実施中】
事業概要	前計画で整備完了した「まぐろ館」を含む清水魚市場「河岸の市」の運営を行い、地域の観光機能を活かした活性化を牽引していく。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	近年は休日を中心に多くの来場があり清水地区を代表する観光施設として定着してきている。今後も多くの観光客に来場していただき清水地区の来街者・観光客数の増加を見込む。まぐろ・サッカー・清水次郎長・アニメキャラクター伝統行事等地域資源活用・連携の総体効果として、観光客数の 8.9 万人増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値（R2）では 289 万人となり、最低値となっている。
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって観光客数が激減したことが要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	新型コロナウイルス感染症拡大によりクルーズ船の寄港がなく、海外からの観光客数は減ったと考えられる。しかし、本事業の近隣の歩行者通行量地点では、平成 26 年度 250 人から令和 3 年度は 741 人となったことから 2021 年 8 月に中部横断自動車道が開通したことで近隣の県からの来街者が増加したのではないかとと思われる。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって海外からの観光客数増加は依然として厳しい状況である。そこで、中部横断自動車道が開通に伴い近隣の県からの旅行者の誘致を行う等を検討し、今後のウィズコロナに向けて、経済対策等を実施し観光業等の活性化を図っていく。

④. 地域資源アニメキャラクター活用推進事業（中心市街地活性化協議会等）

事業実施期間	平成 24 年度～【実施中】
事業概要	地域資源アニメを活用したソフト事業の実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（ソフト事業）（平成 28 年度～令和 3 年度）

事業目標値・最新値及び達成状況	まぐろ・サッカー・清水次郎長・アニメキャラクター伝統行事等地域資源活用・連携の総体効果として、観光客数の8.9万人増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値（R2）では289万人となり、最低値となっている。
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大により、令和3年度も七夕まつりが中止となったため当該事業も中止となった。
計画終了後の状況及び事業効果	地域資源アニメを活用したソフト事業を行うことで、イベント等のにぎわいに貢献したと考えられる。
事業の今後について	今後のウィズコロナに向けて、イベントや観光業等の活性化を図っていく。

⑤. 【再掲】 静岡市歴史文化施設建設事業（静岡市）

事業実施期間	平成27年度～令和3年度【実施中】
事業概要	今川氏や徳川家康公の研究拠点としての博物館機能と集客創造・回遊促進のためのビジターセンター機能を備えた静岡市歴史文化施設の建設。※施行区域：約8,100㎡、延床面積：約5,000㎡
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（国交省）（平成25年度～令和元年度） 都市構造再編集中支援事業（国交省）（令和2年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	歴史文化施設の竣工により静岡呉服町第二地区第一種市街地再開発事業、静岡七間町地区優良建築物等整備事業と合わせ、観光客数の7.8万人の増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値（R2）では289万人となり最低値となっている。令和5年7月にプレオープンし、令和5年1月に開館に向けて建設工事中のため、本事業は現在実施中。
達成した（出来なかった）理由	当該事業は計画期間内に竣工はしなかった。
計画終了後の状況及び事業効果	現在建設中。令和5年7月にプレオープンし、令和5年1月に開館予定。
事業の今後について	令和5年1月に開館予定。今後、歴史文化施設の竣工効果及び2023年大河ドラマの開始により観光客数が増加することを見込んでいる。

⑥. 静岡鉄道新車両導入事業（静岡鉄道株式会社）

事業実施期間	平成27年度～【実施中】
事業概要	2地区を結ぶ静岡 鉄道静岡清水線において、情報提供用液晶画面、車いす・ベビーカー用スペース、高効率モーター等を備えた新車両全24両（12編成）の導入

国の支援措置名及び支援期間	地域公共交通確保維持改善事業（国交省）（平成 27 年度～）
事業目標値・最新値及び達成状況	静岡清水両地区を結ぶ交通手段として日常使いから観光客を含めた利便性の向上が期待される。最終年度には観光客数の 5.8 万人の増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛やイベントの中止等により最新値（R2）では 289 万人となり、最低値となっている。
達成した（出来なかった）理由	平成 28 年度に新型車両導入が開始され令和元年度に全 7 色の車両の導入が完了したが、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって観光客数が激減したことが要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	静岡清水両地区を結ぶ交通手段として日常使いから観光客を含めた利便性の向上につながったと考えられる。
事業の今後について	今後も静岡清水地区を結ぶ交通手段として利便性の向上が期待される。

⑦. コスプレスタジオ「ノンタウン」運営事業（ノンアート）

事業実施期間	平成 26 年度～【実施中】
事業概要	コスプレ撮影スタジオの運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	③富士山コスプレ世界大会開催事業と合わせ、観光客数の 1 万人増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値（R2）では 289 万人となり、最低値となっている。
達成した（出来なかった）理由	2014 年に清水駅アーケード内にオープンしたが、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって観光客数が激減したことが要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	ニッチな分野のニーズをとらえることで、新たなにぎわいの創出につながったと考えられる。
事業の今後について	今後も継続的に運営されることで観光客数の増加に寄与するものとする。

⑧. 清水すし横丁・清水すしミュージアム運営事業（株式会社エスパルスドリームプラザ）

事業実施期間	平成 12 年度～【実施中】
事業概要	本格的な江戸前寿司から手軽な回転寿司まで 8 店舗が集約した「清水すし横丁」と、寿司の歴史や文化を学べる「清水すしミュージアム」の運営。

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	現在も継続して実施しており、清水地区の集客施設として観光客の来街等が図られている。まぐろ・サッカー・清水次郎長・アニメキャラクター伝統行事等地域資源活用・連携の総体効果として、観光客数の8.9万人増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値（R2）では289万人となり、最低値となっている。
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって観光客数が激減したことが要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	清水の地域資源を活用した事業により観光客の来街等につながったと考えられる。
事業の今後について	今後も継続的に運営されることで観光客数の増加に寄与するものとするが、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって清水地区の観光客数をはじめ地域経済に大きな影響が出ている。今後のウィズコロナに向けて、経済対策等を実施し観光業等の活性化を図っていく。

⑨. ちびまる子ちゃんランド運営事業（株式会社エスパルスドリームプラザ）

事業実施期間	平成11年度～【実施中】
事業概要	地域資源アニメの世界観が体験できるテーマパークの運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	現在も継続して実施しており、静岡市の地域コンテンツの拠点施設として多くの来街等が図られている。まぐろ・サッカー・清水次郎長・アニメキャラクター伝統行事等地域資源活用・連携の総体効果として、観光客数の8.9万人増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値（R2）では289万人となり、最低値となっている。
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって観光客数が激減したことが要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	地域資源アニメを活用したことで、イベント等のにぎわいに貢献したと考えられる。
事業の今後について	今後も継続して運営されることで清水地区への来街のきっかけとなるなど観光面での効果が期待される。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって清水地区の観光客数をはじめ地域経済に大きな影響が出ている。今後のウィズコロナに向けて、経済対策等を実施し観光業等の活性化を図っていく。

⑩. 清水港まぐろきっぷ実施事業（株式会社エスパルスドリームフェリー、しずてつジャストライン株式会社）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	清水地区内及び隣接する三保半島の観光施設やまぐろ等を扱う飲食店を、路線バス・水上バスで巡り、施設利用・土産購入等もできる「清水まぐろきっぷ」事業の実施
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	ちゃり三保号Ⅱ運営事業を含む三保地区との連携により、観光客数の 5.1 万人の増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値（R2）では 289 万人となり、最低値となっている。
達成した（出来なかった）理由	継続して実施しており、飲食チケットや公共交通機関の乗車券の利用により観光客等の回遊が生まれ賑わい等の創出が図られている。しかし新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって観光客数が激減したことが要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	三保地区と連携し、観光客等の回遊性の創出につながったと考えられる。
事業の今後について	今後も継続して実施することで来街のきっかけになるなど観光面での効果が期待される。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって清水地区の観光客数をはじめ地域経済に大きな影響が出ていることから、状況に応じて必要な経済対策等を実施し観光業等の活性化を図っていく。

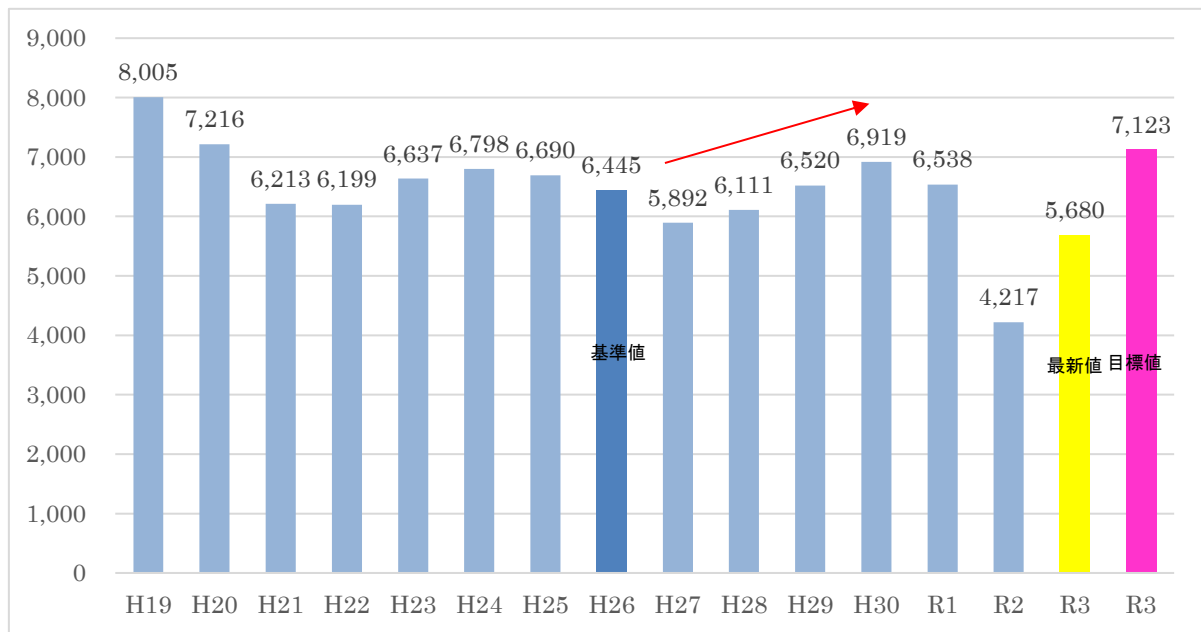
●今後の対策

平成 30 年度までは順調な推移であったが、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止、外出自粛等の影響により令和 2 年度は観光客が激減している。令和 3 年度、4 年度と新型コロナウイルス感染拡大の状況下におけるイベントが少しずつ増加すると考えられ、ウィズコロナに向けたイベント開催の推進を図る必要がある。そこで令和 4 年度に、イベントの回復や持続的な開催を支援するため「まちは劇場 TRY '22」と称した支援策を開始し、消費活動促進の契機としている。

また、クルーズ船の寄港が見込まれず海外からの観光客数増加は依然として厳しい状況の中、新たな対策を推進する必要があると考える。中部横断自動車道が開通に伴い近隣の県からの旅行者の誘致を行う等を検討し、今後のウィズコロナに向けて、経済対策等を実施し観光業等の活性化を図っていく。

(3)「【静岡地区】歩行者通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P.102～P.109 参照

●調査結果の推移



年	人
H26 基準値	6,445
H27 計画前	5,892
H28 1年目	6,111
H29 2年目	6,520
H30 3年目	6,919
R1 4年目	6,538
R2 5年目	4,217
R3 6年目	5,680
R3 6年目 (目標値)	7,123

※調査方法：中心市街地内の79地点で、人が目視にて確認

※調査月：毎年11月最終日曜日の10時～17時

※調査主体：静岡市中心市街地活性化協議会

※調査対象：小学生以上の歩行者

※調査地点



※調査地点毎の推移

(単位：人)

		H26 (計画前 年度)	H28 (1年目)	H29 (2年目)	H30 (3年目)	R1 (4年目)	R2 (5年目)	R3 (6年目)
1	J R静岡駅南口	7,395	7,836	7,366	9,601	7,180	4,961	6,301
2	J R東海静岡支社前	5,375	5,419	6,316	6,624	5,741	4,764	5,887
3	パルシェ前 中央地下道	24,577	25,947	30,932	31,071	30,412	16,932	24,241
4	国道横断ななめ地下道	15,558	16,983	18,047	18,906	16,964	10,256	15,205
5	松坂屋前 中央地下道	21,478	19,995	21,525	23,105	21,685	12,902	18,898
6	紺屋町葵タワー前 東地下道	3,870	4,441	3,967	4,320	4,059	2,813	3,374
7	三菱東京UFJ銀行ビル前 地下道	5,371	5,898	4,748	4,774	4,310	2,921	3,806
8	松坂屋地下入口前 地下道	7,962	7,584	8,084	8,724	7,863	5,457	6,643
9	ミマツ駅前ビル前 ※旧「みのや前」	2,729	2,550	3,918	4,378	4,420	2,337	4,034
10	静岡バルコ前	13,685	12,539	12,325	14,887	15,816	6,978	11,686
11	トラヤ前	6,140	4,302	5,235	5,337	6,497	3,439	4,698
12	小梳神社横（御幸町・紺屋町間）	9,338	8,038	8,882	10,207	7,545	4,818	6,253
13	三菱UFJ信託銀行横 地下道	3,864	4,760	3,455	3,524	2,566	1,959	2,756
14	かに本家前 地下道	1,394	1,879	1,296	1,187	1,443	833	1,041
15	T C21 ビル前	11,928	13,090	11,768	12,077	10,997	7,093	9,967
16	タリーズコーヒー前	10,704	8,872	10,095	11,594	9,501	6,413	9,242
17	クーポール会館前	8,538	7,291	8,739	7,954	8,375	5,471	7,503
18	クーポール会館前 地下昇降口	591	929	931	471	670	357	450
19	服部蒲鉾店前 地下昇降口	2,958	3,931	2,690	2,644	2,752	1,626	2,136
20	中島屋ビル前	2,202	2,061	2,225	2,359	2,551	1,658	2,239
21	ランドマーク呉服町横	1,534	1,710	1,612	1,599	1,762	1,178	1,579
22	静岡銀行呉服町支店前	3,253	3,489	2,905	3,412	3,558	2,329	2,834
23	スターバックスコーヒー呉服町通り店前	12,014	11,231	10,970	11,283	10,600	6,561	9,151
24	サンカメラ前	9,192	8,195	9,056	8,805	9,540	6,248	8,829
25	三保原屋前	12,183	11,105	10,046	10,709	10,709	7,137	10,688
26	谷島屋前	7,808	6,706	7,741	8,456	8,167	5,865	7,617
27	唐木屋薬局前	10,736	8,957	8,539	9,086	8,362	6,251	7,932
28	安心堂本店前	6,278	4,406	5,275	5,731	5,909	4,132	5,773
29	静岡伊勢丹前（呉服町通り側）	3,289	2,788	3,067	2,726	3,006	2,442	2,955
30	T S U T A Y A すみや本店前	3,979	2,536	2,486	4,023	4,506	3,930	4,228
31	すみやグッディ前	4,406	3,613	3,798	3,914	3,544	3,143	3,682
32	静岡伊勢丹前（七間町通り側）	3,155	2,015	1,601	2,661	2,391	2,243	2,500
33	トンボヤ本店前	3,723	2,981	2,619	3,084	2,942	1,690	2,173
34	リーガル・シューズ前	2,418	2,005	2,234	2,175	2,216	2,005	2,793

35	ニット菊屋前	2,033	1,857	1,925	2,177	2,161	1,491	1,931
36	静岡北ワシントンホテルプラザ前	1,552	1,775	1,800	2,493	1,613	1,799	2,687
37	ギャラリー・トンボヤ前	1,437	1,293	1,540	1,679	1,492	1,235	1,579
38	エンブル七間町前（旧高はし屋前）	1,632	1,633	1,723	2,174	2,332	2,326	2,889
39	PIVOT 静岡ビル前（旧クチーナスギヤマ前）	1,456	1,357	1,462	1,527	1,745	1,967	2,092
40	J A D Eビル前	1,582	1,879	1,934	2,196	2,004	1,408	1,968
41	御幸ビル前（旧きもの井越前）	1,880	2,275	2,305	2,354	2,219	1,421	2,598
42	松乃鯨前 地下昇降口	5,927	5,986	5,828	5,962	5,649	3,686	4,451
43	鈴木たばこ店前	9,830	9,262	8,848	10,023	8,855	6,220	7,390
44	鈴与御幸町ビル横	10,946	9,494	10,938	12,974	11,003	7,868	7,842
45	丸井入口前	20,006	18,977	25,254	23,357	20,844	12,077	14,425
46	野村證券静岡支店前	5,631	5,219	4,553	4,655	5,009	3,128	4,172
47	J T B静岡支店横	10,360	10,019	11,371	12,655	11,284	7,114	10,568
48	三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券前	3,176	2,986	2,642	2,884	2,745	1,639	2,287
49	N T T電電ビル（御幸町側）	2,384	2,185	2,176	2,053	2,449	1,479	1,821
50	N T T電電ビル（江川町側）	3,320	3,784	3,956	4,548	4,859	3,102	3,999
51	ペガサート前（北街道側）	5,115	4,265	5,010	5,572	5,571	3,239	4,795
52	四葉商会静岡店前	3,997	4,641	4,570	4,285	4,322	2,671	3,532
53	S H I Z U O K A 1 0 9 前（伝馬町通り側）	1,817	1,751	3,117	1,812	1,697	1,122	1,419
54	トップセンタービル前（伝馬町通り側）	1,052	1,127	1,495	1,146	1,073	830	995
55	新静岡セノバ前 南口モール（アップル薬局前）	25,107	22,357	27,743	29,733	27,179	16,980	23,134
56	静鉄新静岡駅前（するがセンタービル１Ｆ花城横）	1,091	1,186	1,203	1,295	1,385	961	1,378
57	メガネの玉家前（遠藤ビル１Ｆ）	1,307	1,864	1,165	1,136	1,646	845	1,232
58	薬科銘茶杉山園前	1,545	1,170	1,100	1,223	1,509	875	1,170

〈分析内容〉

歩行者通行量全体として最新値は 5,680 人であり、目標値である 7,123 人に達成することができなかった。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響が大きい。しかし、令和 2 年度に比べ最新値である令和 3 年度は 58 地点中 57 地点で前年を上回り、改善傾向もあることが分かった。

本計画では縦軸の強化（「札ノ辻エリア」～「七間町エリア」）を推進していた。歩行者通行量全体としての目標は達成できなかったが、「札ノ辻エリア」～「七間町エリア」の地点（②⑨～③⑨）については平成 26 年度（基準年度）と比べ令和 3 年度（最新値）が増加傾向を示した。七間町エリアの主要事業（静岡七間町地区優良建築物等整備事業・市上下水道局移転・運営事業）および七間町エリア付近の民間会社により効果がみられたと考えられる。

※黄色セル内は、最新値（令和 3 年度）が、基準年度である平成 26 年度よりも増加した地点

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①.【再掲】静岡呉服町第二地区第一種市街地再開発事業（静岡呉服町第二地区市街地再開発組合、札の辻ビルマネジメント株式会社）

事業実施期間	平成 25 年度～平成 30 年度【済】
事業概要	商業店舗、業務事業所、駐車場（120 台）、駐輪場（291 台）、多目的ホール（約 600 m ² ）、高齢者施設（84 戸）、ウェルネス等の整備を図る再開発事業の実施。 ※施行区域：約 4,000 m ² 、延床面積約 19,700 m ² 、階数：地上 13 階、地下 1 階
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（国交省）（平成 25 年度～平成 30 年度） 防災・省エネまちづくり緊急促進事業（国交省）（平成 28 年度～平成 30 年度） 地域・まちなか商業活性化支援事業（経産省）（平成 30 年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	②静岡七間町地区優良建築物等整備事業と合わせて、『静岡の特徴ある商業空間の形成』を図ることで、歩行者通行量の 539 人の増加を見込んでいた。その結果、竣工年度の歩行者通行量調査では近隣地点（T S U T A Y A すみや本店前）が前年と比べ約 1,500 人増加するなどの効果があった。令和 2 年度調査から、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響がある中、最新値の近隣地点では基準値に比べ約 250 人の増加がみられた。 その結果、②事業と合わせて約 1,500 人の増加となり、本事業における通行量の目標は達成した。
達成した（出来なかった）理由	平成 30 年 11 月に「札の辻クロス」として竣工した。事業所数および利用者が増加したことが要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	「札の辻クロス」内には音楽を中心とした多目的ホールがあり、利用者の増加により歩行者通行量も増加したと考えられ、街の賑わいにもつながっていると思われる。
事業の今後について	今後も施設運営をとおして賑わい創出が図られていくものと考ええる。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって全体の通行量は目標に達成できなかったことから、今後のウィズコロナに向けて、中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

②.【再掲】静岡七間町地区優良建築物等整備事業（静岡七間町地区優良建築物等整備事業建設組合）

事業実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度【済】
事業概要	商業店舗、保育所（約 300 m ² 、定員 30 人程度）、住戸（170 戸）、駐車場（116 台）、駐輪場（207 台）等の整備を図る優良建築物等整

	備事業の実施。※施行区域：約 2,600 m ² 、延床面積約 19,500 m ² 、階数：地上 27 階、地下 1 階
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（国交省）（平成 26 年度～平成 29 年度） 防災・省エネまちづくり緊急促進事業（国交省）（平成 27 年度～平成 28 年度） 保育所等整備交付金（厚労省）（平成 29 年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	①静岡呉服町第二地区第一種市街地再開発事業と合わせて、『静岡の特徴ある商業空間の形成』を図ることで、歩行者通行量の 539 人の増加を見込んでいたが、竣工の翌年度の歩行者通行量調査では近隣地点（エンブル七間町前）が前年と比べ約 450 人増加するなどの効果があった。令和 2 年度調査から、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響がある中、最新値の近隣地点では基準値に比べ約 1,250 人の増加がみられた。 その結果、①事業と合わせて約 1,500 人の増加となり、本事業における通行量の目標は達成した。
達成した（出来なかった）理由	平成 29 年 7 月に竣工した。事業所数および居住者が増加したことが要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	本事業の隣接する歩行者通行量調査地点（PIVOT 静岡ビル前、静岡北ワシントンホテルプラザ前）などにおいても増加がみられたことから、街の賑わいにもつながったと思われる。
事業の今後について	今後も施設運営をとおして賑わい創出が図られていくものと考ええる。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって通行量が減少していることから、活性化に向け中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

③.【再掲】静岡市歴史文化施設建設事業（静岡市）

事業実施期間	平成 27 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	今川氏や徳川家康公の研究拠点としての博物館機能と集客創造・回遊促進のためのビジターセンター機能を備えた静岡市歴史文化施設の建設。※施行区域：約 8,100 m ² 、延床面積：約 5,000 m ²
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（国交省）（平成 25 年度～令和元年度） 都市構造再編集中支援事業（国交省）（令和 2 年度～令和 3 年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	工事発注の事務手続きを一時停止していたが事業を再開することとなり令和 3 年 1 月から建設工事が始まった。歴史文化施設の竣工によりにぎわいが創出され、『家康公が築いた歴史資源の活用』を図ることにより、歩行者通行量の 72 人の増加を見込んでいた。令和 5 年 7 月にプレオープンし、令和 5 年 1 月に開館に向けて建設工事中のため本事業は現在実施中。

達成した（出来なかった）理由	当該事業は計画期間内に竣工はしなかった。
計画終了後の状況及び事業効果	現在建設中。令和５年７月にプレオープンし、令和５年１月に開館予定。
事業の今後について	令和５年１月に開館予定。今後、歴史文化施設の竣工効果及び2023 年大河ドラマの開始により観光客数が増加することを見込んでいる。

④. 御伝鷹エリア共通駐車場システム「御伝鷹にとめざー」構築事業

事業実施期間	平成 27 年度～【済】
事業概要	御伝鷹エリア（御幸町、伝馬町、鷹匠一丁目）の商店街・大型店 4 店舗・個店・民間駐車場等で利用できる共通駐車場システムの構築
国の支援措置名及び支援期間	地域商業自立促進事業（H27 自立促進調査分析事業） 地域商業自立促進事業（H28 自立促進支援）
事業目標値・最新値及び達成状況	計画当初は、多様な来街手段の充実による効果として、歩行者通行量の 25 人の増加を見込んでいた。事業完了の翌年度の歩行者通行量調査では、中心市街地全体として歩行者通行量が前年から平均 400 人程度増加した。しかしながら新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響により、令和２年度に比べて回復したものの最新値では歩行者通行量全体の目標を達成することはできなかった。
達成した（出来なかった）理由	平成 29 年 3 月に整備完了した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響が大きく、目標には及ばなかったと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	来街の主な交通手段は、全体では自家用車であることから、本事業により来街者の利便性は向上したと思われる。
事業の今後について	今後も継続的に運営し駐車場利用を効率化することで来街促進が図られると考える。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって全体の歩行者通行量は目標に達成できなかったことから、今後のウィズコロナに向けて、中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

⑤. 【再掲】静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター移転・運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成 28 年度～【済】
事業概要	七間町エリアの再生に向け、創造的活動拠点を移転・運営し、クリエイターの発掘・育成・企業やクリエイティブ産業の振興を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び達成状況	⑥事業と合わせて、『まちの空間・時間を楽しむ創造的活動の推進』を図ることにより歩行者通行量の 28 人の増加を見込んでいた。令和 2 年度調査から、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響がある中、最新値の近隣地点（エンブル七間町前）では基準値に比べ約 1,250 人の増加がみられた。その結果、本事業における通行量の目標は達成した。
達成した（出来なかった）理由	平成 28 年 4 月に「文化・クリエイティブ産業振興センター」と改称し、七間町へ移転。②静岡七間町地区優良建築物等整備事業との相乗効果により、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響の中、歩行者通行量が増加したと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	本事業の隣接する歩行者通行量調査地点（PIVOT 静岡ビル前、静岡北ワシントンホテルプラザ前）などにおいても増加がみられたことから、街の賑わいにもつながったと思われる。
事業の今後について	今後も施設運営をとおして賑わい創出が図られるものとする。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって通行量が減少していることから、活性化に向け中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

⑥. 【再掲】 鈴木学園中央調理製菓専門学校静岡校移転・運営事業（学校法人鈴木学園）

事業実施期間	平成 28 年度～【済】
事業概要	静岡市上下水道庁舎の整備の一環として、同施設内に地域のにぎわい創出や教育機能向上に寄与する専門学校の移転・運営を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	⑤事業と合わせて、『まちの空間・時間を楽しむ創造的活動の推進』を図ることにより、歩行者通行量の 28 人の増加を見込んでいる。令和 2 年度調査から、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響がある中、最新値の近隣地点（エンブル七間町前）では基準値に比べ約 1,250 人の増加がみられた。その結果、本事業における歩行者通行量の目標は達成した。
達成した（出来なかった）理由	平成 28 年 4 月に新上下水道庁舎建物へ移転。②静岡七間町地区優良建築物等整備事業との相乗効果により、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響がある中、歩行者通行量が増加したと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	本事業の隣接する歩行者通行量調査地点（PIVOT 静岡ビル前、静岡北ワシントンホテルプラザ前）などにおいても増加がみられたことから、街の賑わいにもつながったと思われる。

事業の今後について	継続して運営することで今後も賑わい創出が図られると考える。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって歩行者通行量全体は減少していることから、活性化に向け中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。
⑦. 【再掲】市上下水道局移転・運営事業（静岡市）	
事業実施期間	平成 27 年度～【済】
事業概要	七間町エリアにおいて、市上下水道局庁舎を整備し、地域の人が集い・交流する場を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	静岡赤十字病院増改築事業と合わせて、歩行者通行量の 52 人の増加を見込んでいた。しかしながら新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響がある中、令和 2 年度に比べて回復したものの、最新値では歩行者通行量全体の目標を達成することはできなかった。
達成した（出来なかった）理由	平成 28 年 2 月に水道部、下水道部が新庁舎へ順次移転した。
計画終了後の状況及び事業効果	本事業の隣接する歩行者通行量調査地点においては増加がみられたことから、街の賑わいにもつながったと思われる。
事業の今後について	今後も施設の波及効果による歩行者通行量の増加が期待される。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって歩行者通行量が減少していることから、活性化に向け中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。
⑧. 【再掲】静岡鉄道新車両導入事業（静岡鉄道株式会社）	
事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	2 地区を結ぶ静岡鉄道静岡清水線において、情報提供用液晶画面、車いす・ベビーカー用スペース、高効率モーター等を備えた新車両全 24 両（12 編成）の導入。
国の支援措置名及び支援期間	地域公共交通確保維持改善事業（国交省）（平成 27 年度～）
事業目標値・最新値及び達成状況	計画当初は、公共交通利便性向上による効果として、歩行者通行量の 93 人の増加を見込んでいた。しかしながら新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響がある中、令和 2 年度に比べて回復したものの、最新値では歩行者通行量全体の目標を達成することはできなかった。

達成した（出来なかった）理由	平成 28 年度に新型車両導入が開始され令和元年度に全 7 色の車両の導入が完了した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響が大きく、目標には及ばなかったと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	静岡清水両地区を結ぶ交通手段として日常使いから観光客を含めた利便性の向上につながったと考えられる。
事業の今後について	静岡地区と清水地区を結ぶ交通手段として利便性が向上し来街者の増加が期待される。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって全体の通行量は目標に達成できなかったことから、今後のウィズコロナに向けて、中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

⑨. 静岡赤十字病院増改築事業（静岡赤十字病院）

事業実施期間	平成 21 年度～平成 28 年度【済】 認定基本計画：平成 28 年度～令和 2 年度
事業概要	静岡赤十字病院既存病棟・駐車場棟の解体、新病棟・駐車場等の建設
国の支援措置名及び支援期間	医療施設耐震化臨時特例事業費補助金（H23～H27）
事業目標値・最新値及び達成状況	計画当初は、市上下水道局移転・運営事業と合わせて、歩行者通行量 52 人の増加を見込んでいた。しかしながら新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響がある中、令和 2 年度に比べて回復したものの、最新値では歩行者通行量全体の目標を達成することはできなかった。
達成した（出来なかった）理由	平成 24 年 10 月に 3 号館、平成 28 年 12 月に 1 号館が竣工、平成 28 年 12 月にグランドオープンした。
計画終了後の状況及び事業効果	街なかの都市福利機能の向上にもつながったと思われる。
事業の今後について	事業が完了し引き続き医療拠点として街中の都市福利機能の向上に寄与されるものとする。新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響によって通行量が減少していることから、活性化に向け中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

●今後の対策

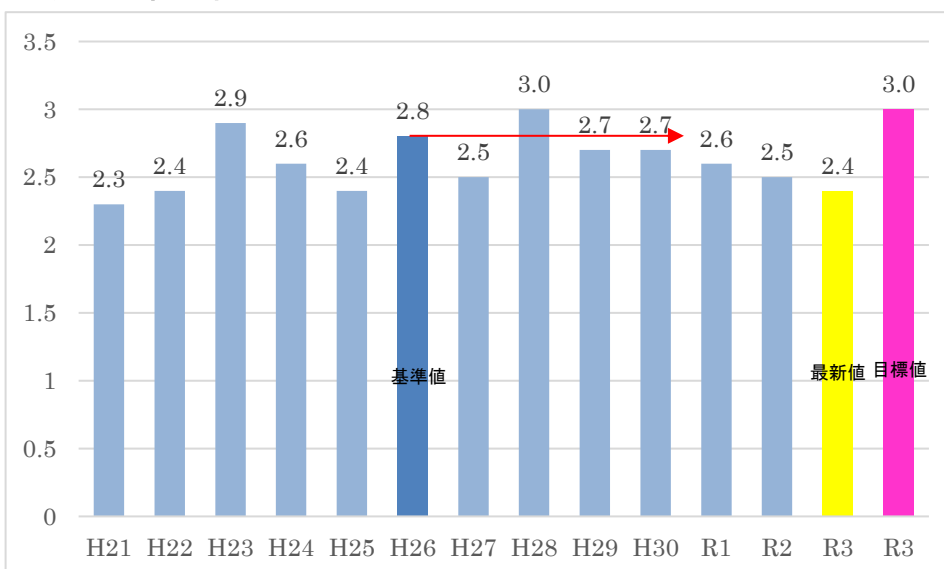
③静岡市歴史文化施設建設事業は現在建設中、令和5年1月に開館予定である。そのため今後、歴史文化施設の竣工効果により、来館者が静岡地区を回遊することで、札ノ辻エリアなどの歩行者通行量が増加することを見込んでおり、「駿府城公園エリア」へと伸びるさらなる“縦軸の強化”を促進する。

令和5年2023年に大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせて「大河ドラマ館」を静岡浅間神社内「旧文化財資料館」に設置することを予定している。「歴史博物館」と「大河ドラマ館」との相互送客を高めるため、無料シャトルバスの運行や周辺情報をまとめたガイドブックを作成するなど市内周遊を促す事業を実施予定である。駿府城公園周辺や浅間神社などへの回遊性を高めることで相乗効果による地域経済活性化を推進していく。更にオリジナルロゴマークを活用したPRをはじめ商品開発の支援や販売促進など、地域経済の活性化を図る。

また、中心市街地活性化協議会と連携し、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の地域経済への影響を踏まえた新たな事業の検討及び実施することで中心市街地に人を呼び込む仕組みづくりを行っていく。

（４）「【清水地区】滞在時間」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 110～P. 112 参照

●調査結果の推移



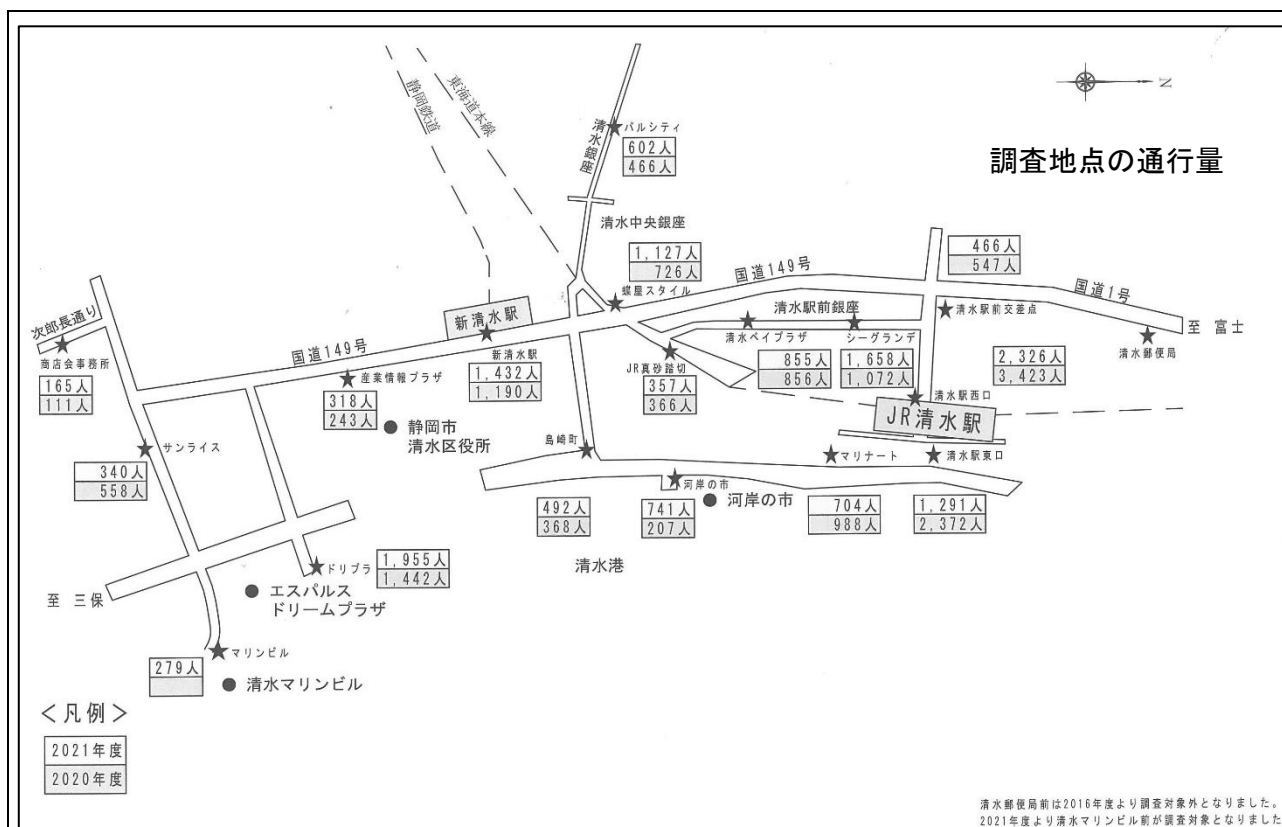
年	時間
H26 基準値	2.8
H27 計画前	2.5
H28 1年目	3.0
H29 2年目	2.7
H30 3年目	2.7
R1 4年目	2.6
R2 5年目	2.5
R3 6年目	2.4
R3 6年目 (目標値)	3.0

※調査月：毎年11月最終日曜日の10時～17時

※調査主体：静岡市中心市街地活性化協議会、静岡商工会議所

※調査対象：調査地点を通過した来街者（回答者：300人）

※調査地点：下図15地点（次郎長通り、清水マリビル除く15地点）



＜分析内容＞

滞在時間の最新値は2.4時間であり、目標値である3.0時間に達成することはできなかった。来街目的の「イベント参加」の割合をみると、新型コロナウイルス感染症拡大前では約14%を超える結果だったが、令和2年度は9.8%、令和3年度は8.1%と10%を下回った。長期化する新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止や外出自粛等の影響により、少しずつ減少したと考えられる。今後、イベント開催が増えていくことで、滞在時間においても少しずつではあるが回復するのではないと思われる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①.【再掲】清水駅東口歩行者デッキ（ペデストリアンデッキ）延伸事業

事業実施期間	平成27年度～平成28年度【済】
事業概要	JR清水駅と静岡市清水市民文化会館を繋ぐ歩行者デッキを漁港施設「河岸の市」へ延伸整備し、回遊性向上を図る事業。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	『回遊・めぐりやすさの推進』を図ることにより、総体効果として滞在時間の0.08時間の増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値では2.4時間となり、基準値を下回っている。

達成した（出来なかった）理由	平成 27 年 12 月に着工し、平成 29 年 2 月に供用が開始されたが、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止や外出自粛等が要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	ペDESTリアンデッキにより、周辺施設へのアクセスが容易になり回遊性や観光客数の向上につながっていると考えられる。
事業の今後について	ペDESTリアンデッキの延伸工事が予定通り完了し、周辺施設へのアクセスが容易になった。しかしながら新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により不要不急の外出の自粛が求められている中、滞在時間が減少している。今後のウィズコロナに向けて中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

②. 【再掲】（仮称）清水区本郷町大規模小売店舗跡整備事業（ヨシコン株式会社）

事業実施期間	平成 27 年度～平成 30 年度【済】 認定基本計画：平成 28 年度～令和 2 年度
事業概要	商業店舗、ビジネスホテル、マンション、駐車場等の整備を図る事業の実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	各機能を充足することでその総体効果として滞在時間の目標達成を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値では 2.4 時間となり、基準値を下回っている。
達成した（出来なかった）理由	商業店舗が平成 30 年春にオープン、ビジネスホテルが平成 31 年 3 月に開業したが、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止や外出自粛等が要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	宿泊施設が開業したことにより、遠方からの来街者の増加につながると考えられる。
事業の今後について	事業が完了し宿泊者が周辺施設等を巡ることで滞在時間の向上に寄与するものと期待される。しかしながら新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により不要不急の外出の自粛が求められている中、滞在時間が減少している。今後のウィズコロナに向けて中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

③. 外国人旅行者買物環境強化推進事業（各民間事業者、静岡市中心市街地活性化協議会、静岡市）

事業実施期間	平成 27 年度～【済】
事業概要	免税環境の整備、外国語買物マップの作成 等
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	『回遊・めぐりやすさの推進』を図ることにより、総体効果として滞在時間の 0.08 時間の増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値では 2.4 時間となり、基準値を下回っている。
達成した（出来なかった）理由	静岡地区、清水地区におけるインバウンド向けお買い物マップを作成し、また、WEB による街なかの情報発信のページも整備した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止や大型客船の入港ができず外国人旅行者が減少したこと等が要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	お買い物マップの作成や、街中の情報発信 WEB ページを整備したことにより利便性が向上したと考えられる。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により不要不急の外出の自粛が求められている中、滞在時間が減少している。今後のウィズコロナに向けて中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

④. 静岡市中心市街地情報交換会開催事業

事業実施期間	平成 24 年度～令和 3 年度【実施中】
事業概要	行政や周辺商店街、文化施設、商業施設等で組織する情報交換会の定期的な開催。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	繋ぐ・巡る機能の向上による効果として、各事業主体が積極的に連携・情報交換を図ることで、滞在時間の 0.14 時間の増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値では 2.4 時間となり、基準値を下回っている。
達成した（出来なかった）理由	行政や周辺商店街、文化施設、商業施設等で行われている各取り組みを毎月の情報交換会で共有している。
計画終了後の状況及び事業効果	現在も定期的に情報交換を実施している。

事業の今後について	今後も継続的に開催し相互の連携を図り横断的な事業 PR 等の実施に努めていく。
⑤. 静岡市清水文化会館「マリナート」運営事業（静岡市）	
事業実施期間	平成 24 年度～【実施中】
事業概要	静岡市清水文化会館「マリナート」の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	繋ぐ・巡る機能の向上による効果として、滞在時間の 0.14 時間の増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値では 2.4 時間となり、基準値を下回っている。
達成した（出来なかった）理由	平成 24 年度から新たな文化の発信拠点としてミュージカル、音楽、能楽等、様々な催しを開催している。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止や外出自粛等が要因と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	イベント等の開催により、来街促進や中心市街地での滞在時間増加につながったと考えられる。
事業の今後について	引き続き運営を行い、イベント等を開催することで来街促進や中心市街地での滞在などが期待される。しかしながら新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により不要不急の外出の自粛が求められている中、滞在時間が減少している。今後のウィズコロナに向けて中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。
⑥. こどもクリエイティブタウン「ま・あ・る」運営事業（静岡市）	
事業実施期間	平成 24 年度～【実施中】
事業概要	こどもクリエイティブタウン「ま・あ・る」の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	繋ぐ・巡る機能の向上による効果として、これらの施設が来街の目的地となることで総体効果として滞在時間の 0.14 時間の増加を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止等により最新値では 2.4 時間となり、基準値を下回っている。
達成した（出来なかった）理由	子どもや家族連れが来街する一つの拠点施設として今後も継続的に運営を行っていく。

計画終了後の状況及び事業効果	子どもや家族連れの来街のきっかけになったと考えられる。
事業の今後について	今後も継続的に施設を運営することで、子どもや家族連れの来街のきっかけをつくり、街中への来街増等の効果が期待できる。しかしながら新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により不要不急の外出の自粛が求められている中、滞在時間が減少している。今後のウィズコロナに向けて中心市街地活性化協議会で効果的な事業を検討、実施していく。

●今後の対策

不要不急の外出の自粛、インターネットを通じた買い物や短時間での買い物など、滞在時間を取り巻く外的環境が変化しており目標の達成には及ばなかった。そこで令和4年度に、イベントの回復や持続的な開催を支援するため「まち劇場 TRY '22」と称した支援策を開始し、消費活動促進の契機として、イベント開催の促進や経済対策等を実施していく。